

浜名湖花博へ行ったのは、今から九年前の盛夏でした。会場の一角に、五千品種の花や植物が植えられた百華園がありました。私たち夫婦は、ガイドツアーに参加しているいろいろな花の名前を教えてもらい、ツアーの最後にはお土産としてバラの苗木をいただいたのです。しかし、旅の途中だったので、苗木の入ったビニール袋に水を注いで枯れないようにと案じながら、翌日自宅に持ち帰りました。早速、庭の隅に苗木を植えたのですが、その年の秋には花が咲かず、根付かなかったと諦めていました。ところが、翌年の春に濃いピンク色の花が咲いたのです。それから酷暑や厳寒に耐え、九年たった今でも花を咲かせています。花が咲くたびに、ビニール袋の中で一昼夜過ごしたのに、枯れずに根付いたバラの逞しさに感動します。来春には、浜名湖花博十周年を記念して浜名湖花博二〇十四が開催されるので、バラが根付いた報告を兼ねて再訪したいねと夫婦で語り合っています。